

# 今月の 20年度事業予定～

りながら、一緒に  
つくっていきたい  
と考えています。  
もう一つは、本  
の紹介パンフレッ  
ト「今月の本棚」の  
発行です。昨年六  
月から毎月特集を

今年度は、みなさんが本を読む時  
の手助けとなるよう、二つの新しい  
取り組みを始めました。  
一つは、「全館統一展示」です。四月  
は「昭和の日」、九月は「団塊の世代に  
送る本」をテーマに、各館の担当が独  
自に選んだ本を一ヶ月間展示しまし  
た。テーマによって選び出された色々  
な本が一箇所に並んでいただけが、  
利用者のみなさんにとって新鮮だっ  
たのでしょうか。好評で、利用が増え  
た館もありました。今年度は回数を増  
やして行います。身近な図書館とし  
て、利用者のみなさんのお知恵を借  
りながら、一緒に  
つくっていきたい  
と考えています。  
もう一つは、本  
の紹介パンフレッ  
ト「今月の本棚」の  
発行です。昨年六  
月から毎月特集を

## 一般図書

図書館では、利用対象者別、ある  
いは、資料の種類別に、様々なサー  
ビスを提供しています。  
今号では、これらのサービスにつ  
いて、平成十九年度の重点事業を報  
告するとともに、平成二十年度の事  
業予定をお伝えします。

## 成人サービス

組み、カウンターで配布しています。  
「大人の習い事」「家庭の省エネ対策」  
「原爆小文庫」など、季節や話題に合  
わせて紹介しています。また、FM西  
東京「図書館情報コーナー」で紹介し  
た本についても載せています。  
今年度は、さらに多様な切り口で  
図書館から情報を発信していきたい  
と考えています。

## 逐次刊行物

昨年度は、今年六月の保谷駅前図  
書館開館を契機に、収集している雑  
誌の全体的な見直しを行いました。  
複数収集している雑誌については、  
次の二点を考慮して、収集数と収集  
館を決めました。

- ①利用頻度から、収集すべき適切な  
数を判断する。
  - ②館内閲覧の利便性を考え、北部地  
域にある図書館と南部地域にある  
図書館で分担して収集する。
- また、館別に分野ごとの見直しを  
行い、雑誌を入れ替えたり、手薄な分  
野の雑誌を増やしたりしました。  
このような見直しを行ったことに  
より、今年度収集する雑誌のタイ  
トル数を増やすことができました。保  
谷駅前図書館にはビジネス関係の雑  
誌を多数そろえる予定です。

## 視聴覚資料

昨年度から、CDの収集方針を大  
きく変更しました。今までは主に利  
用の多い音楽CDを収集してきま  
した。しかし、歌謡曲や外国ポピュ  
ラーなどの音楽は、民間レンタルシ  
ョップや音楽配信サービス等から、  
低価格で提供されています。このよ  
うな状況の中で公共図書館が提供  
すべき資料は何かについて検討し  
た結果、朗読・講演・落語・浪曲等の  
音楽以外のCDや、音楽の中でもク  
ラシック・民族音楽・邦楽等のCD  
を中心に収集することにしました。

また、利用者のみなさんの資料選  
択の幅が広がるよう、ポスターや所  
蔵リスト、ホームページを用いて、  
朗読・講演・落語の新作CDを紹介  
してきました。今年度も、様々な方  
法で、図書館にあるCDの情報を提  
供していきたいと考えています。

## レファレンスサービス

昨年度は、今年六月開館予定の保  
谷駅前図書館のレファレンス資料を  
充実させるための準備に取り組みま  
した。下保谷図書館のレファレンス  
資料を基に、新しく出版された資料  
を収集して蔵書数を増やすとともに、  
改訂版への差し替えを行い、蔵書内  
容の強化を計りました。  
また、資料を有効利用していただ



本の展示

## 児童サービス

昨年度の重要な事業の一つは、「西  
東京市子ども読書活動推進計画」の  
実施状況の確認でした。庁内関連各  
課との会議を重ね、平成十八年度以

今年度は、Eメールレファレンス  
(メールで質問を受け、メールで関係  
参考資料を紹介する)の実施に向け  
て整備を進め、利用者のみなさんの  
調査・研究活動を支援していく予定  
です。

# 図 書 館

## ～19年度事業報告～

降の進捗状況について報告書を作成しました。今年度は懇談会を開いて、広く市民のみならずのご意見を伺う予定です。

行事については、

新しい取り組みとして、「多摩・島しょ子ども体験塾市町村助成金交付事業」を利用して、子どもたちに人気のある本の作家と、子どもたちが直接対話をする「作家と話そう」という体験塾を二回開催しました。第一回は「パスワードシリーズ」の物語作家、松原秀行さんを、第二回は、小学校三年生の教科書にも掲載されている「さんねん峠」の絵本作家李錦玉(リ・クムオギ)さんを迎えて行いました。いずれも四十人を超える参加があり、子どもたちに楽しく貴重な時間を提供できたと感じています。

また、児童サービスの見直しも行いました。一つは、子どもの本の紹介パンフレット「ドキドキわくわく」の発行形態の変更です。今までは年三回発行していましたが、なるべく新しい本の情報を届けたいと考え、チラシで隔月発行としました。さらに、そこで紹介した本を年度ごとにまとめて一冊の冊子にして配布したり、館内でも見られるようにしたりしました。

二つ目は、ボランティア養成講座

の実施です。おはなし会は、これまでボランティアの方々との協力を得て行っていますが、市民ニーズも高く、より一層の充実が求められています。そこで、保谷駅前図書館が開館することもふまえ、読み聞かせボランティアの養成講座を開催したところ、定員を大幅に超える応募がありました。今年度は、受講者の方々の協力も得ながら、おはなし会を行いたいと考えています。

三つ目は、職員研修の強化です。児童サービス担当の専門性と技量の向上をめざして、月一回ブックトークを中心に行いました。今後も積み重ねていく努力を続けていきます。

保谷駅前図書館はヤングアダルト(YA)資料の収集に力を入れる予定です。開館後は、YA世代の満足を得られるように、蔵書の充実に取り組みでいきたいと考えています。

### ハンディキャップサービス

昨年度は各広報テープの提供、録音図書の作成や対面朗読、点訳・宅配等に加えてデジジ(DAISY)資料の作成を開始しました。デジジ資料とはCD-ROM版のデジタル録音図書で、カセットテープと違い、各章の頭だしやページ検索ができるなど、便利な機能のついた録音図書資料です。専用の再生機が必要ですが、パソコンでの活用が可能なため



体験塾「作家と話そう」

### 地域・行政資料サービス

昨年度は、二つの重点事業を行いました。

一つは、「昭和の日」を記念した写真展「なつかしの田無・保谷」です。昭和初期からの田無、保谷地域の写真資料から百点をパネル化し、こもれびホール、きらつと、西原郷土資料室など六会場の巡回展示会を実施しました。

もう一つは、西東京市指定文化財「地租改正絵図」五巻の修復委託事業です。修復完了記念の講演会「西東京市の歴史と文化財」と展示会も開催しました。

また、地域・行政資料の保存と提供、市民情報の収集、地域・行政資料室の利用促進に向けたPRなどに努めました。

今年度は、昨年、好評だった「昭和の日・記念写真展」の継続事業として、「田無・保谷いまむかし写真展」を行います。新たに写真資料を掘り起こし、市内公共施設を巡回してパネル展示を行います。

また、「田無村御検地帳」の委託修復事業を実施し、公開していきます。さらに、西東京市に関する新聞記事の情報提供にも取り組んでいきます。

